

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

市町村名	課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
062090_長井市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	児童生徒がより広い視野を持ち、主体的に学ぶため、教科指導等における地域人材の確保や連携が課題。	本事業のメニュー(地域未来塾や放課後子ども教室など)をフルに活用し、地域の人材を活用するために市内各地区コミュニティセンターとの連携を深めていく。	引き続き市内各小中学校に地域学校協働活動推進員を配置し、地域の人材活用、新たな人材の発掘に取り組む。また、一部地区では学校と地域との会議を令和7年度から月1回設定するなどの取り組みを進める。	子どもの学力や社会性の向上に資するとともに、地域あげての子育て意識の向上を図ることができる。	地域に開かれた教育が実施できていると感じる保護者の割合	92	%	96	93	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
062090_長井市	②学校と地域の課題	学校支援ボランティアの確保・育成	子どもの減少、コロナ禍により、子どもたちの内向的な傾向が進み、地域活動にもなかなか出てこなくなっている。	コロナ禍後、学校運営協議会等で協議し、子どもが参加できる行事をようやく再開できたため、さらに活動を広げ子どもたちの認知につなげて参加しやすい雰囲気づくりをしていく。	各学校の運営協議会での議論(今後の取組への展望)として、学校支援ボランティアの確保とともに、学校を舞台とした地域活動を子どもや迎えに来る親にも見せ、R6は前年度に比べ参加者も増えた事を踏まえ、実施回数を増やしさらなる活動を進める。	地域活動を通して地域の大人と触れ合うことにより、子どもの社会性の向上に資するとともに、地域あげての子育て意識の向上、学校を舞台とした生涯学習事業の展開を図ることができる。	地域行事へ子どもたちが参加していると感じる保護者の割合	83	%	86	85	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる